



## GW 連休からの中間考査！ 「準備がすべて」はお互い様？

早いもので1年生が入学してから1ヶ月が過ぎました。学校にも徐々に慣れ、勉強に部活に、そして友人関係に、充実した日々を過ごしてくれているところだと思います。

そんな1年生に（1年生だけではないですが）迫っているのが、高校生活初の定期考査である中間考査です。生徒の皆さんを苦しめる（？）この定期考査ではありますが、実は教員側も苦しみながら問題を作り、また採点を行っています。今回は教員側からみた考査についてのお話をしてみたいと思います。

さて、「考査」の意味を広辞苑で引いてみると、

- ①考え調べること。
- ②学校（主に中学校・高等学校）で生徒の平素の学業成績を調べること。試験。テスト。「期末一」

と書かれています。特に②の意味で使われることが多いこの考査ですが、教員側からすると実は①に結構ドキッとします。自分の授業で生徒たちはしっかり考えること・調べることが出来ているのか…と自らを問い直す機会となるからです。

授業内容を理解出来ているか、考えられているかを問うのが定期考査なのですが、これは何も生徒だけの考査ではありません。我々教職員も問われているのです。毎回採点をしながら、「ああ、ここはもう少し丁寧に教えておけば良かった」とか、「もっと別の表現だったら生徒も覚えやすかったかも…」などと、自分の足りなかったところを突きつけられ、今後の課題点・改善点が浮き彫りになるツラさ…。

考査は、教職員にとっても大きな試練であることが何となく分かっていただけましたか？お互いにツラさがある定期考査ですが、大きく成長する学びのチャンスでもあります。後になってから「良かった！」と思える考査となるように、早めに準備しておきましょう。よろしくお祈りします。（第1学年主任 吉村）



行事予定

10日（金）～12日（日）ラグビー、バレーボール中国大会、14日（火）～17日（金）中間考査



米工 HP